

授業科目	保育内容の理解と方法 I				単位	1			
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21626J			
開講年次	1年	開講時期	前期	該当DP	DP5-1 DP5-2				
担当教員	金谷 めぐみ、文屋 典子、吉富 淳子								
授業概要	保育士として求められる音楽の基礎技能について教授する。楽典の知識についての解説、呼吸法・発声法を含む声楽の基礎、ピアノ演奏の基礎に関する実技指導を中心に授業をすすめる。ピアノ実技指導に関しては、学生のピアノの演奏技能の程度によって、グループ別、個別に授業を行う。								
学生が達成すべき行動目標	1.楽典の基礎を理解し、楽譜を正しく読むことができる。 2.正しい呼吸法・発声法を習得し、表現豊かに歌うことができる。 3.正しい演奏法に基づいてピアノを演奏することができる。 4.子どもの発達や季節に応じた音楽教材の活用について説明できる。								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	50	30	0	0	0	20	100		
知識・理解 (DP1-1)									
知識・理解 (DP1-2)									
知識・理解 (DP1-3)									
知識・理解 (DP1-4)									
思考・判断 (DP2-1)									
思考・判断 (DP2-2)									
関心・意欲 (DP3-1)									
関心・意欲 (DP3-2)									
態度 (DP4-1)									
態度 (DP4-2)									
態度 (DP4-3)									
技能・表現 (DP5-1)	10					10	20		
技能・表現 (DP5-2)	40	30				10	80		
技能・表現 (DP5-3)									
具体的な達成の目安									
理想的レベル					標準的なレベル				
1.バイエル 40 番以上演奏できるピアノ演奏技能を身につけている。 2.子どもの歌の弾き歌いができる程度の演奏技能を身につけている。 3.保育の各場面に適した音楽を選び、演奏できる。 4.楽典の知識を演奏に活かすことができる。					1.バイエル 40 番に到達する程度のピアノ演奏技能を身につけている。 2.簡単な子どもの歌の弾き歌いができる程度の演奏技能を身につけている。 3.楽典の基礎について理解できている。				
授業計画									
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)			予習・復習時間(分)	

1	楽典の基礎①:音符・休符の名称と長さ 器楽演奏技術①:ピアノ演奏の基礎	講義／実技指導	楽典の復習 ピアノ自主練習	60
2	楽典の基礎②:音程 器楽演奏技術②:ピアノ演奏の基礎	講義／実技指導	楽典の復習 ピアノ自主練習	60
3	楽典の基礎③:音階(長音階) 器楽演奏技術③:ピアノ演奏の基礎	講義／実技指導	楽典の復習 ピアノの自主練習	60
4	楽典の基礎④:音階(短音階) 器楽演奏技術④:ピアノ演奏の基礎	講義／実技指導	楽典の復習 ピアノの自主練習	60
5	楽典の基礎⑤:調性(長調) 器楽演奏技術⑤:ピアノ演奏の基礎	講義／実技指導	楽典の復習 ピアノの自主練習	60
6	楽典の基礎⑥:調性(短調) 器楽演奏技術⑥:ピアノ演奏の基礎	講義／実技指導	楽典の復習 ピアノの自主練習	60
7	楽典の基礎⑦:リズムと拍子 器楽演奏技術⑦:ピアノ演奏の基礎	講義／実技指導	楽典の復習 ピアノの自主練習	60
8	楽典の基礎⑧:音程 器楽演奏技術⑧:ピアノ演奏の基礎	講義／技術指導	楽典の復習 ピアノの自主練習	60
9	楽典の基礎⑨:音程 器楽演奏技術⑨:ピアノ演奏の基礎	講義／実技指導	楽典の復習 ピアノの自主練習	60
10	楽典の基礎⑩:移調 器楽演奏技術⑩:ピアノ演奏の基礎	講義／実技指導	楽典の復習 ピアノの自主練習	60
11	楽典の基礎⑪:移調 器楽演奏技術⑪:ピアノ演奏の基礎	講義／実技指導	楽典の復習 ピアノの自主練習	60
12	楽典の基礎⑫:和音と伴奏づけ 器楽演奏技術⑫:ピアノ演奏の基礎	講義／実技指導	楽典の復習 ピアノの自主練習	60
13	楽典の基礎⑬:和音と伴奏づけ 器楽演奏技術⑬:ピアノ演奏の基礎	講義／実技指導	楽典の復習 ピアノの自主練習	60
14	楽典の基礎⑭:まとめ 器楽演奏技術⑭:ピアノ演奏の基礎	講義／実技指導	楽典の復習 ピアノの自主練習	60
15	楽典の基礎⑮:まとめ 器楽演奏技術⑮:ピアノ演奏の基礎	講義／実技指導	楽典の復習 ピアノの自主練習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	これまでまったくピアノを弾いたことがない人でも大丈夫です。楽典の基礎で学ぶ音楽の基礎知識を一つ一つ確実に理解していきましょう。			
テキスト	『バイエルピアノ教則本』 全音楽譜出版社 『コールユーブンゲン』 全音楽譜出版社（プリント配布） 『最新・幼児の音楽教育』 朝日出版社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『バイエルの謎』 安田寛著 音楽之友社 『ブルクミュラー25の不思議』 飯田有抄、前島美保著 音楽之友社			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	ピアノが弾けるようになるためには、とにかく繰り返し練習することです。授業以外の時間にできるだけ時間を作って、ピアノを練習しましょう。 これまでまったくピアノを弾いたことがない人は、楽典の基礎で学ぶ音楽の基礎知識を一つ一つ確実に理解していきましょう。			
達成度評価に関するコメント	試験(ピアノ実技)、小テスト(楽典の基礎)、その他(より高いレベルに到達するために意欲的に取り組んだか)により評価します。 詳細は、授業で説明します。			